

2023年度 第2四半期 (2023年4月～2023年9月) 決算説明資料

2023年11月10日

西日本鉄道株式会社
(コード番号 9031)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

目次

	ページ
1 .連結決算概要	1
連結経営成績、連結の範囲	
2 .セグメント別損益	2~9
セグメント別損益状況、数量情報	
3 .連結財政状態	10
4 .連結キャッシュ・フローの状況	11
5 .2023年度連結業績予想	12~13
セグメント別損益予想	

1. 2023年度第2四半期 連結決算

《全体損益等》

営業収益 営業利益	運輸業やレジャー・サービス業で新型コロナウイルス感染症の5類移行等によって社会・経済活動の正常化が進み 需要が回復したことなどにより増収となった一方、 物流業における国際物流事業で輸送需要の低迷による輸出入取扱高の減少等により、減収・減益
経常利益	為替差益の減少などにより、減益

親会社株主に帰属する 四半期純利益	西新パレス等の売却による固定資産売却益の計上などにより、増益
----------------------	--------------------------------

(単位：億円)

	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/2Q	増減
営業収益	1,972	2,535	△ 564	△ 22.2	(△) 国際物流 △707 (輸出入取扱高減)、住宅 △18 (販売区画数減) (+) ホテル(実質) 53 (稼働率及び客室単価上昇)、賃貸 30 (グループ内賃貸収入増)、 バス(実質) 23 (需要回復)、鉄道 13 (需要回復)	1,905	67
営業利益	108	115	△ 8	△ 6.5	(△) 国際物流 △79 (粗利減) (+) ホテル 27 (粗利増)、バス 14 (需要回復)、 賃貸 11 (グループ内賃貸収入増)、鉄道 9 (需要回復)	89	19
経常利益	106	132	△ 26	△ 19.8	(△) 為替差益 △13 (当期 0、前期 14)、 持分法投資損益 △3 (当期 △6、前期 △3)	81	25
親会社株主に帰属する 四半期純利益	110	88	22	24.9	〈当期〉固定資産売却益 66 (西新パレス 65) 〈前期〉投資有価証券売却益 14 (ハウステンボス)	39	71
※親会社株主に帰属する四半期純利益は、2000年度に中間決算を導入して以来、過去最高							
事業利益	104	114	△ 10	△ 8.7	(事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等)	81	23
EBITDA	192	205	△ 13	△ 6.4	(EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	183	8
設備投資	275	95	180	189.4		94	180

《連結の範囲(期末)》 連結子会社 80社 (減少 2社)、持分法適用会社 36社 (増加 2社)、持分法非適用会社 3社 (増減なし)

2. セグメント別損益

対前年比較 (対2022②)

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)
運 輸	38,029	34,625	3,404	9.8	1,400	△ 782	2,182	-
不 動 産	31,338	29,860	1,478 [△1,045]	4.9	3,624	2,471	1,152 [488]	46.7
流 通	35,121	34,110	1,010	3.0	378	△ 304	683	-
物 流	70,560	135,990	△ 65,430	△ 48.1	3,238	11,199	△ 7,960	△ 71.1
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス	20,885	13,890	6,994	50.4	2,239	△ 1,185	3,425 [4,089]	-
そ の 他	13,488	13,934	△ 446	△ 3.2	342	357	△ 15	△ 4.2
調 整 額	△ 12,267	△ 8,896	△ 3,371	-	△ 446	△ 226	△ 219	-
合 計	197,156	253,515	△ 56,359	△ 22.2	10,777	11,527	△ 750	△ 6.5

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

2. セグメント別損益

対コロナ前比較 (対2019②)

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2023/2Q	2019/2Q	増減	率(%)	2023/2Q	2019/2Q	増減	率(%)
運 輸	38,029	44,720	△ 6,691	△ 15.0	1,400	3,003	△ 1,602	△ 53.4
不 動 産	31,338	28,727	2,611 [87]	9.1	3,624	3,081	542 [△121]	17.6
流 通	35,121	38,910	△ 3,788	△ 9.7	378	250	128	51.2
物 流	70,560	50,076	20,483	40.9	3,238	1,396	1,841	131.8
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス	20,885	22,770	△ 1,884	△ 8.3	2,239	1,272	966 [1,631]	75.9
そ の 他	13,488	19,876	△ 6,387	△ 32.1	342	145	196	134.5
調 整 額	△ 12,267	△ 14,585	2,317	-	△ 446	△ 277	△ 168	-
合 計	197,156	190,496	6,660	3.5	10,777	8,873	1,903	21.5

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

運輸業 需要の回復による旅客人員の増加や
鉄道事業における鉄道駅バリアフリー料金制度を適用したことなどにより、増収・増益（黒字化）

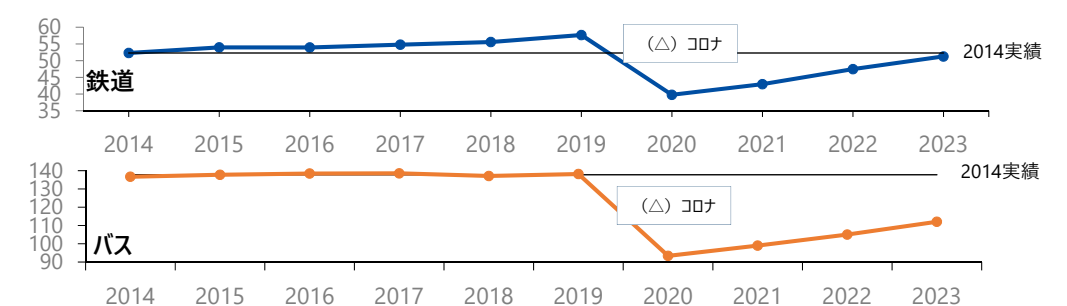
(単位：百万円)

	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/2Q	増減
営業収益	38,029	34,625	3,404	9.8		44,720	△6,691
鉄道	10,669	9,341	1,327	14.2	(+) 需要の回復による旅客人員の増加(定期外・定期)、 バリアフリー料金制度適用	11,735	△1,066
バス (※実質)	25,917 (24,243)	23,687 (21,952)	2,230 (2,291)	9.4 (10.4)	(+) 需要の回復による旅客人員の増加(定期外、貸切稼働増) (△) 福岡市地下鉄七隈線延伸	30,841 (28,816)	△4,923 (△4,573)
他	5,711	5,649	61	1.1	(+) タクシー	7,420	△1,709
消去	△4,268	△4,053	△214	-		△5,276	1,008
営業利益	1,400	△782	2,182	-		3,003	△1,602
鉄道	1,178	248	929	373.8	(+) 増収 (△) 修繕費増、一般費増	1,675	△497
バス	316	△1,083	1,400	-	(+) 増収、減価償却費減 (△) 人件費増、一般費増、動力費増	1,336	△1,020
他	△52	14	△67	-	(△) 運輸関連	△38	△13
消去	△41	37	△79	-		29	△71
※実質・・・事業内部取引を除く							
EBITDA	4,360	2,310	2,049	88.7	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	7,669	△3,308
設備投資	2,312	1,089	1,223	112.3	当期：天神大牟田線雑餉隈駅付近連続立体交差工事 天神大牟田線春日原～下大利駅間連続立体交差工事	2,015	297

旅客人員 (単位：百万人)

	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	2019/2Q	率(%)
鉄道	51	47	3	8.0	57	△11.1
定期外	21	19	2	13.1	25	△16.2
定期	29	28	1	4.6	32	△7.1
バス	112	105	7	6.7	138	△18.9
定期外	66	59	7	13.2	76	△13.0
定期	45	46	△0	△1.6	61	△26.3

旅客人員推移 (百万人)



不動産業 住宅事業で分譲マンション販売戸数の減少などによる減収の一方、
賃貸事業でホテル事業の経営体制変更に伴うグループ内賃貸収入（セグメント間取引）の増加や
商業施設の賃貸収入が回復したことなどにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/2Q	増減
営業収益	31,338	29,860	1,478 [△1,045]	4.9		28,727	2,611 [87]
賃貸	15,373	12,323	3,049 [525]	24.7	(+) ホテル事業経営体制変更(グループ内賃貸収入[セグメント間取引]増加)、 商業施設の賃貸収入回復	13,242	2,130 [△393]
住宅	11,610	13,423	△1,813	△13.5	(△) マンション(△35戸)、戸建(△18区画)	11,003	607
その他不動産	6,405	6,256	148	2.4		6,169	235
消去	△2,051	△2,143	92	-		△1,688	△362
営業利益	3,624	2,471	1,152 [488]	46.7		3,081	542 [△121]
賃貸	3,419	2,367	1,052 [387]	44.4	(+) 増収	3,386	33 [△631]
住宅	133	△87	221	-	(+) マンション(費用減)	△498	631
その他不動産	180	202	△21	△10.8		213	△33
消去	△109	△10	△98	-		△20	△89
EBITDA	7,105	5,327	1,777	33.4	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	5,778	1,327
設備投資	12,041	5,091	6,949	136.5	当期：福ビル街区建替プロジェクト(2024年12月竣工予定)	5,698	6,342

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

分譲販売区画数

(単位：戸、区画)

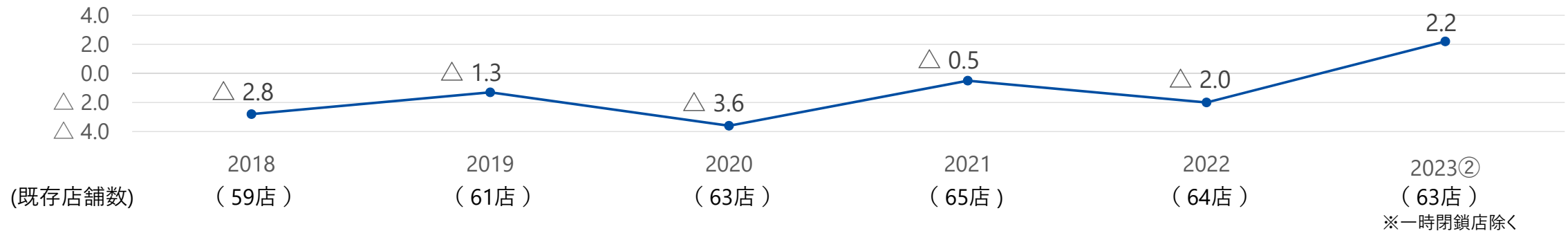
	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	摘要
合計	189	244	△55	△22.8	
マンション	131	166	△35	△21.5	〈当期〉サンリヤン練馬北町、照葉ザ・タワー 〈前期〉照葉ザ・タワー、ガーデンクロス東京王子
戸建	56	74	△18	△24.3	
リノベーション	2	4	△2	△50.0	

流通業 ストア事業で前期に開業した新規店舗の寄与や
仕入価格高騰による販売価格への転嫁が進んだことなどにより、増収・増益（黒字化）

(単位：百万円)

	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/2Q	増減
営業収益	35,121	34,110	1,010	3.0		38,910	△3,788
ストア	32,486	31,699	787	2.5	(+) 既存店・前期開業店売上増 (△) 一時閉鎖店(リニューアル)	36,384	△3,897
生活雑貨販売	2,634	2,411	222	9.2	(+) 既存店・前期開業店売上増	2,526	108
消去	△0	△0	0	-		-	△0
営業利益	378	△304	683	-		250	128
ストア	330	△257	588	-	(+) 粗利増	191	139
生活雑貨販売	91	14	77	532.2	(+) 粗利増	111	△19
消去	△43	△61	17	-		△52	9
EBITDA	800	120	679	565.2	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	826	△25
設備投資	1,139	603	536	88.8		364	775

【参考】ストア 食品スーパー-既存店売上 対前期比推移(%) ※収益認識会計基準等適用前ベース



食品スーパー-既存店：当該年およびその前年のいずれにも営業していた店舗を対象。また、年度の途中で開店または閉店した店舗は除外。

物 流 業

国際物流事業で輸送需要の低迷による輸出入取扱高の減少等により、減収・減益

(単位：百万円)

	2023/2Q	2022/2Q	増 減	率(%)	主な増減内容	2019/2Q	増 減
営業収益	70,560	135,990	△65,430	△48.1		50,076	20,483
国際物流	73,984	144,710	△70,725	△48.9	(△) 輸出入取扱高減	50,700	23,283
国内物流	5,212	5,206	5	0.1		5,334	△122
消去	△8,636	△13,926	5,290	-		△5,959	△2,676
営業利益	3,238	11,199	△7,960	△71.1		1,396	1,841
国際物流	3,333	11,225	△7,891	△70.3	(△) 粗利減	1,428	1,904
国内物流	69	62	6	10.9		85	△16
消去	△164	△88	△75	-		△117	△46
EBITDA	4,247	12,227	△7,980	△65.3	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	1,958	2,288
設備投資	10,514	751	9,762	1,299.8	当期：関東ロジスティクスセンター	339	10,174

国際貨物取扱高

	単位	2023/2Q	2022/2Q	増 減	率(%)	地域ごとの増減率(%)
航空輸出	(千トン)	47	68	△21	△31.2	日本 △30.2、北中米 △34.9、欧州 △17.1、アジア △34.1
航空輸入	(千件)	159	192	△33	△17.4	日本 △15.1、北中米 △18.2、欧州 △25.2、アジア △17.1
海運輸出	(千TEU)	47	52	△4	△8.5	日本 △3.1、北中米 2.0、欧州 34.4、アジア △13.3
海運輸入	(千TEU)	66	71	△5	△8.2	日本 △8.2、北中米 △0.5、欧州 △23.3、アジア △3.7

レジャー・サービス業

ホテル事業で需要の回復による稼働率及び客室単価の上昇や

「西鉄ホテルクルーム博多祇園 櫛田神社前」の開業（2023年4月）などにより、増収・増益（黒字化）

(単位：百万円)

	2023/2Q	2022/2Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/2Q	増減
営業収益	20,885	13,890	6,994	50.4		22,770	△1,884
ホテル (実質)	11,830 (11,823)	11,555 (6,557)	274 (5,265)	2.4 (80.3)	(+) (実質) 需要の回復による稼働率及び客室単価の上昇	16,965 (10,531)	△5,134 (1,292)
旅行	1,369	1,103	265	24.0	(+) 国内外の旅行需要回復	1,791	△422
娯楽	2,629	2,207	422	19.1	(+) マリンワールド(水族館入館人員増)	2,730	△100
他	5,639	4,595	1,044	22.7	(+) 西鉄エアサービス(空港業務受託料収入増)	8,587	△2,948
消去	△583	△5,571	4,988	-		△7,304	6,720
営業利益	2,239	△1,185	3,425 [4,089]	-		1,272	966 [1,631]
ホテル	908	△1,773	2,682 [3,346]	-	(+) 粗利増	571	337 [1,001]
旅行	223	△21	244	-	(+) 粗利増	△28	251
娯楽	791	552	239	43.4	(+) 粗利増	412	378
他	359	32	326	-	(+) 粗利増	190	168
消去	△42	24	△67	-		126	△169
EBITDA	2,822	151	2,671	-	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	2,729	93
設備投資	1,567	1,122	444	39.6	当期：西鉄ホテルクルームバンコク シーロム [仮称] (2024年夏開業予定) ソラリア西鉄ホテル台北西門 (2023年8月開業)	971	596

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR

	2023/2Q		2022/2Q		増減		率(%)		2019/2Q	増減	率(%)
客室単価 (円)	11,131	(11,142)	7,807	(7,807)	3,324	(3,335)	42.6	(42.7)	9,920	1,211	12.2
稼働率 (%)	76.3	(75.5)	64.8	(64.8)	11.5P	(10.7P)	-	-	76.8	△0.5P	-
Rev PAR (円)	8,497	(8,415)	5,058	(5,058)	3,439	(3,357)	68.0	(66.4)	7,616	881	11.6

()内は、既存ホテル数値：当期および前期のいずれにも営業していたホテルを対象

そ の 他 車両整備関連事業で受注が増加した一方、
建設関連事業で完成工事高が減少したことなどにより、減収・減益

(単位：百万円)

	2023/2Q	2022/2Q	増 減	率(%)	主な増減内容	2019/2Q	増 減
営業収益	13,488	13,934	△446	△3.2		19,876	△6,387
車両整備関連	6,764	6,088	676	11.1	(+) 車両整備の受注増	10,122	△3,357
建設関連	3,981	4,749	△767	△16.2	(△) 完成工事高減	7,358	△3,377
金属リサイクル	2,414	2,767	△352	△12.8	(△) 販売数量減	2,232	182
ICカード	491	440	50	11.5	(+) 加盟店手数料増	453	37
消去	△163	△111	△52	-		△290	126
営業利益	342	357	△15	△4.2		145	196
車両整備関連	360	178	182	102.3	(+) 粗利増	314	45
建設関連	△22	124	△146	-	(△) 粗利減	40	△63
金属リサイクル	297	242	54	22.4	(+) 粗利増(原価減)	△119	416
ICカード	△249	△200	△49	-	(△) 費用増(システム代替による減価償却費増)	△98	△151
消去	△43	12	△55	-		8	△52
EBITDA	785	858	△72	△8.4	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	641	144
設備投資	244	1,056	△811	△76.9		518	△274

3. 連結財政状態

(単位：億円)

	2023年 9月末	2023年 3月末	増減	主な増減内容
資産合計	6,968	6,858	110	
流動資産	1,988	2,197	△209	売掛金 △193、現金及び預金 △73 (前期 728 → 当期 655)、販売土地及び建物 64
固定資産	4,979	4,661	319	有形固定資産 233 (福ビル街区建替、関東ロジスティクスセンター)、投資有価証券 112
負債合計	4,765	4,839	△75	借入金 △92、社債 △70 (2023.6.2償還)、前受金 32
流動負債	1,553	1,444	109	
固定負債	3,211	3,395	△184	
純資産合計	2,203	2,019	184	利益剰余金 94 (四半期純利益 110、配当 △16)、為替換算調整勘定 49
自己資本比率	30.6%	28.4%	2.2P	
株主資本比率	27.2%	26.4%	0.9P	
1株当たり純資産	2,709.48円	2,471.07円	238.41円	
有利子負債	3,187	3,349	△162	借入金 △92、社債 △70 (2023.6.2償還)

※ 有利子負債 = 借入金 + 社債

4. 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2023/2Q	2022/2Q	増減	2023年度第2四半期 主な内容
営業活動	318	172	145	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー ・税金等調整前四半期純利益 172 (対前年 37) ・減価償却費 87 ・売上債権の減少 184 (対前年 143 [住宅事業、国際物流事業など]) ・棚卸資産の増加 △ 70 (販売用不動産増加など)
投資活動	△210	△102	△108	<ul style="list-style-type: none"> ●投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産取得支出 △ 284 (対前年 △178 [福ビル街区建替、関東ロジスティクスセンターなど]) ・投資有価証券取得支出 △ 31 (関連会社への出資など) ・固定資産売却収入 62 (西新パレスなど) ・工事負担金等受入 60 (連立事業など)
財務活動	△206	△139	△67	<ul style="list-style-type: none"> ●財務活動によるキャッシュ・フロー ・借入金(純額) △ 171 (対前年 △60 [社債 △70]) ・配当金の支払額 △ 16
	2023年 9月末	2023年 3月末	増減	
現金等 期末残高	649	726	△77	

5. 2023年度通期業績予想

(単位：億円)

	2023年度 (予想)	2022年度 (実績)	増減	増減率	前回公表 (23/8公表)	差異
営業収益	4,253	4,946	△693	△14.0 %	4,360	△107
営業利益	204	262	△58	△22.0 %	173	31
経常利益	169	279	△110	△39.4 %	133	36
親会社株主に帰属する 当期純利益	138	184	△46	△24.9 %	108	30
事業利益	174	261	△87	△33.2 %		
減価償却費	188	184	5	2.6 %		
EBITDA	363	446	△83	△18.6 %		
設備投資	712	266	446	167.6 %		

※事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益

※EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

(前回公表との差異)

営業収益：国際物流事業での輸出入取扱高の減少

営業利益：レジャー・サービス業での需要の増加、運輸業や不動産業での費用が上半期において当初の見込みよりも減少

5. 2023年度通期業績予想

(単位：億円)

		2023年度 (予想)	2022年度 (実績)	増減額	営業利益の主な増減 ()は主な増減要因	前回公表 (23/8公表)	差異
全業	営業収益	4,253	4,946	△693		4,360	△107
	営業利益	204	262	△58		173	31
運輸業	営業収益	769	721	48	鉄道事業、バス事業の増益	765	4
	営業利益	26	1	25	(需要の回復による増収)	17	9
不動産業	営業収益	858	781	[24] 77	賃貸事業の増益、住宅事業の減益	881	△23
	営業利益	90	83	[△8] 7	(ホテル事業のグループ内賃貸収入の増加、 販売関連費用の増加)	83	7
流通業	営業収益	709	690	19	ストア事業の増益	700	9
	営業利益	6	1	5	(仕入価格高騰による販売価格への転嫁)	5	1
物流業	営業収益	1,425	2,318	△893	国際物流事業の減益	1,545	△120
	営業利益	53	171	△118	(販売価格の落ち着き、輸出入取扱高の減少)	53	-
レジャー・サービス業	営業収益	426	327	99	ホテル事業の増益	404	22
	営業利益	29	1	[44] 28	(需要の回復による増収)	15	14
その他	営業収益	305	301	4	建設関連事業の減益	304	1
	営業利益	10	11	△1	(粗利減)	10	-

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

※ 一部連結子会社の組織再編を実施したことにより、前年実績のセグメント情報を変更しています。